

# 豊島区立池袋第三小学校

## 建替え基本構想に関する提言書



平成 24 年 3 月

池袋第三小の建替え等を考える会

## 目 次

はじめに	1
1 池袋第三小学校の現況	2
(1) 位置	
(2) 地域地区	
(3) 学校施設の現況	
2 建替えに係る条件等の整理	4
(1) 改築スケジュール	
(2) 児童数と学級数の推定	
(3) 池袋第三小学校の学校施設に必要な教室等（案）	
3 建替え基本構想に関する提言	7
(1) 私たちの思い（コンセプト）	
(2) こんな学校にしたい（基本方針）	
(3) こんなふうに造りたい（整備方針）	
(4) 空間構成と配置計画について	
4 「池袋第三小の建替え等を考える会」の検討過程	15
(1) 活動概要	
(2) 見学会の記録	
(3) アンケート調査の概要	
(4) 施設計画の検討ワークショップの概要	
(5) 池袋第三小の建替え等を考える会 会則	
(6) 池袋第三小の建替え等を考える会 名簿	

別添資料 池袋第三小学校の建替えに関するアンケート調査報告書

## はじめに

池袋第三小学校は、平成 20 年 7 月に策定されました豊島区立小・中学校改築（建替え）計画の前期計画の対象校として位置づけられ、平成 24 年度に基本設計、平成 25 年度に実施設計、平成 26 年度の 9 月から建設開始というスケジュールで建替えを進めていく予定になっています。

基本設計にいたるまでには、教育内容・方法の多様化等に応じた学校施設づくり、また、地域の実情に応じた学校施設づくりの様々な条件等を整理して基本的な考え方（基本構想）をまとめておく必要があります。

このため、地域、保護者、学校、区及び教育委員会等との協働による検討及び協議を実施する活動組織として、「池袋第三小の建替え等を考える会」が平成 22 年 12 月に設立され、基本構想の立案に向けた活動を展開しました。

6 月までは、先進事例の見学会や区の導入機能・施設の考え方、さらには学校建築の受講などの学習を行い、また、地域の方や子ども達を対象にアンケートを実施しました。

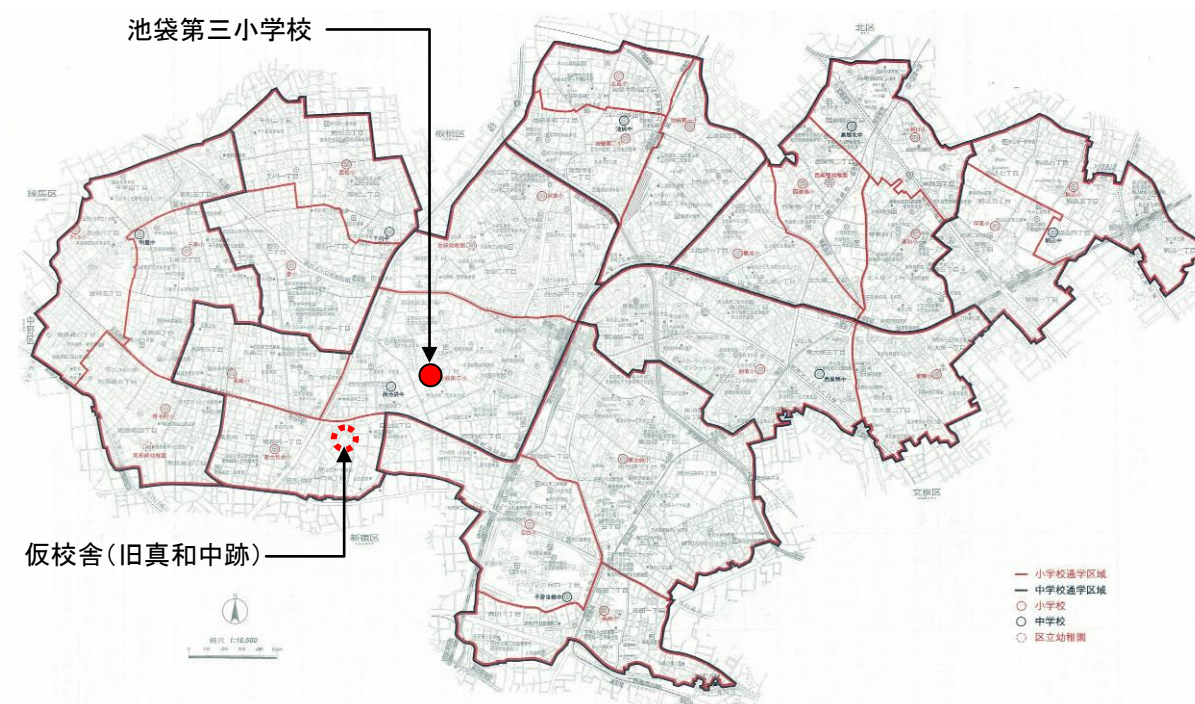
7 月からは、ワークショップ形式により施設計画の検討を行い、どんな学校をつくるべきかについて議論を重ねました。そしてここに池袋第三小学校の建替えに関する私たちの考えをとりまとめ提言するものです。池袋第三小学校の建替えの実施にあたり、この提言書が反映されることを期待いたします。

### 池袋第三小の建替え等を考える会



# 1 池袋第三小学校の現況

## (1) 位置



## (2) 地域地区



用途地域 : 第1種中高層住居専用地域

防火地域 : 防火地域

高度地区 : 第3種高度地区、最低限度高度地区 7m

日影規制 : 4h、2.5h (測定面の高さ : 4.0m) ※北側隣地は制限なし

その他 : 第1種文教地区

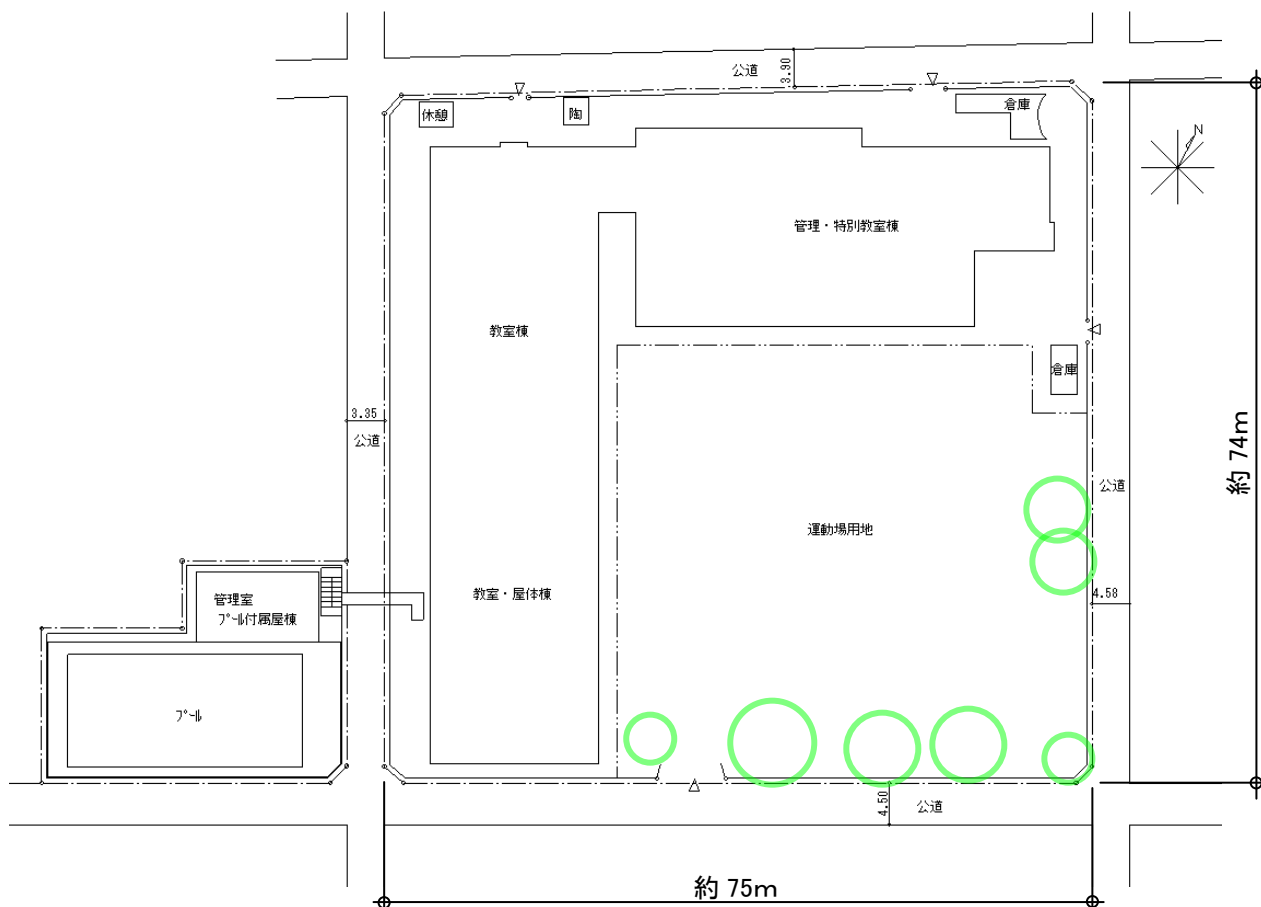
道路斜線 : 1 : 1.25 (制限範囲は道路の反対側から 25mまで)

### (3) 学校施設の現況

- 校地面積：6,403 m<sup>2</sup>（飛び地を含む）
- 校舎床面積：4,668 m<sup>2</sup>（S36、S37、S39、S46 建設）
- 体育館床面積：668 m<sup>2</sup>
- プール：25m×10.8m（水深 1.25m）
- 校庭：2,750 m<sup>2</sup>、運動場面積：約 2,070 m<sup>2</sup>（図上計測）

#### ○教室等

- 普通教室：10 教室
- 特別支援学級、プレイルーム
- 特別教室：理科室、音楽室、図工室、家庭科室、生活科室、図書室、  
コンピュータ室、ランチルーム、多目的室、児童会室
- 管理諸室等：校長室、職員室、事務室、主事室、保健室、会議室、放送室  
印刷室、給食室、教育相談室、資料室、更衣室、備蓄倉庫
- 子どもスキップ



## 2 建替えに係る条件等の整理

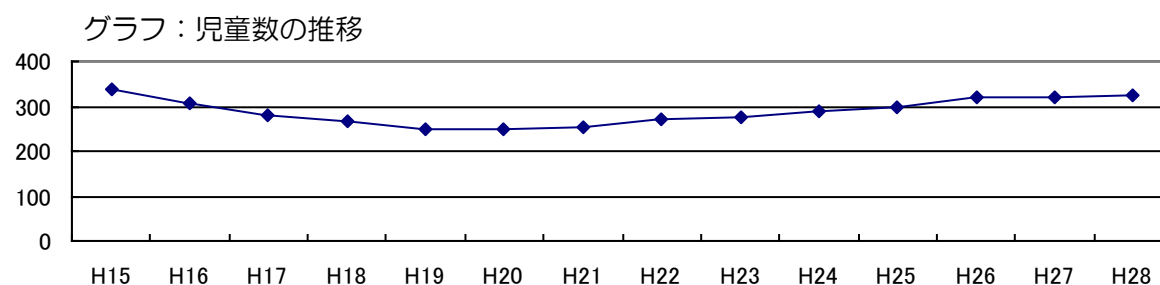
### (1) 改築スケジュール

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28
予定	提言書 (池三小考える会)	基本計画 基本設計	実施設計	建設工事	建設工事	新校舎開校 (8月)

※仮校舎利用期間：平成26年8月(2学期から)～平成28年7月(1学期中)

### (2) 児童数と学級数の推定

池袋第三小学校の児童数は、東京都の推計値でみると、平成20年度を境に減少傾向から増加傾向に転じている。児童数増加の要因は、周辺のマンション建設によるファミリー世帯の増加によるものと考えられる。



平成23.6 東京都教育庁作成推計

年度	児童数							学級数計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
H23	49	51	58	34	47	35	274	10
H24	50	48	50	58	34	47	287	11
H25	55	49	48	51	60	35	298	11
H26	60	54	49	48	51	60	322	12
H27	58	58	53	49	49	52	319	12
H28	60	57	58	53	50	48	326	12

網かけ部分は35人学級導入予定学年

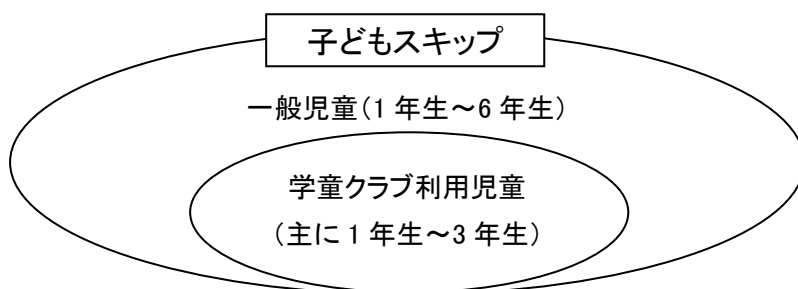
### (3) 池袋第三小学校の機能と役割

#### ①基本機能

- 学びの場：子どもが進んで学ぶ学校
- 生活の場：子どもが喜んで通う学校
- 地域の拠点：子ども・保護者・地域が集う学校

#### ②子どもスキップ

学校の教室、校庭、体育館などを活用し、小学 1 年生から 6 年生までの児童を対象として、自主的な参加のもとに遊びをおとして、子どもたちが交流を広げる事業



#### ○開設時間

平日：当該小学校の授業が終わってから校庭開放終了時間まで

※学童クラブ利用児童は午後 6 時まで

土曜日：午前 10 時から午後 5 時まで

※学童クラブ利用児童は午前 9 時から午後 5 時まで

休業日：日曜日、祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

#### ③地域利用機能

- 地域活動の場
- 地域のスポーツ、集会等の場

#### ④救援センター機能（地域本部）

救援センターは、震災時に地域の避難所であるとともに、応急救護活動の拠点として次の機能を有する。

1. 防災行政無線等の整備による災害情報の収集伝達
2. 炊飯器・ろ水機等の整備による給食給水活動
3. 傷病者のための応急医療救護活動
4. 被災者のための一時的な宿泊場所の提供

(4) 池袋第三小学校に必要な教室等（案）

普通教室の学級数は、児童数の推計から各学年2クラス編成が想定される。

区分	室名	現況		計画(標準)	
		室数	1室規模	室数	1室規模
普通教室等	普通教室	10室	1教室	12室	1教室
	多目的スペース	1室	1教室		
	少人数学習室			6室	1教室
特別支援学級	教室、作業室・調理室、職員室他	1室	2.5教室	1室	3教室
特別支援教室	特別支援教室			1室	0.5教室
特別教室等	理科室・準備室	1室	2教室	1室	2教室
	音楽室・準備室	2室	計3教室	1室	2教室
	図工室・準備室	1室	2教室	1室	2教室
	家庭科室・準備室	1室	2教室	1室	2教室
	コンピュータ室・準備室	1室	1教室	1室	2教室
	図書室	1室	2教室	1室	2.5教室
	ランチルーム	2室	1教室	1室	2教室
	和室			1室	1教室
	児童会室	1室	1教室	1室	1教室
	教育相談室	1室	0.5教室	1室	0.5教室
	児童更衣室	1室	0.5教室	1室	0.5教室
	児童更衣室(プール)	2室	0.5教室	2室	0.5教室
	生活科室	1室	1教室		
	管理諸室等	校長室	1室	0.5教室	1室
職員室		1室	1.5教室	1室	2.5教室
事務室、倉庫		1室	0.5教室	1室	1教室
主事室		1室	0.5教室	1室	0.5教室
会議室				2室	0.5教室
放送室		1室	0.5教室	1室	0.3教室
印刷室		1室	0.5教室	1室	0.5教室
保健室		1室	1教室	1室	1教室
PTA室				1室	0.5教室
職員更衣室				2室	0.25教室
倉庫・教材室等		3室	0.5教室	4室	0.5教室
廃棄物置き場				1室	0.25教室
給食関係室		給食調理室、休憩室	1室	3.6教室	1室
地域開放関係	更衣・シャワー室			2室	0.5教室
	地域開放用器具庫			2室	0.5教室
防災関係	防災備蓄倉庫	1室	1教室	1室	1教室
	防災資器材格納庫	1室	0.5教室	1室	0.5教室
	地域防災組織倉庫	1室	0.5教室	1室	0.5教室
	多目的ルーム	1室	1教室		
子どもスキップ	一般、学童、事務	1室	1教室	1室	2.5教室
共用部	昇降口、廊下、階段				
	職員用トイレ、児童用トイレ、多機能トイレ、手洗い場				
	昇降機(車いす対応)	1基		1基	
	機械設備室、電気室				
体育施設	体育館、器具庫		668㎡		900㎡
	水泳プール				
	運動場				
	屋外倉庫	1室	0.25教室	1室	0.5教室



### 3 建替え基本構想に関する提言

#### (1) 私たちの思い（コンセプト）

学校大好き 地域と共に

あふれる光そよぐ風 つながる緑ふれあう心

木の温もりに抱かれた 楽しい居場所

豊かな緑に囲まれた みんなが使える地域の庭

しなやかな校舎 広い校庭 爽やかな緑 澄み渡る空

そんな学校をつくりたい

#### 【解説】

子ども達は、学校に通うことが楽しく大好きな場所であり、学校を拠点とした地域活動も展開される。校舎内にも光が差し込み、風が通る自然を活かした構造をつくり、桜の木など緑に囲まれた環境を守るとともに地域の緑とつながり、緑がつながるように、地域との交流やふれあいが継続できる拠り所をつくる。家庭的な温かみのある校舎で楽しく学び、確かな学力を身につけ、心の豊かさと希望を育み、校庭は多様な地域利用に開かれている。地域性を取り入れた特徴のある校舎デザイン、広く使えるようになった校庭、既存の緑に加えて豊かな緑、空気がきれいで空も澄み渡る。

## (2) こんな学校にしたい（基本方針）

### 方針 1：楽しい居場所となる学び舎をつくる

- ・自発的な学習を誘発する空間構成に工夫する。
- ・ICT 導入のインテリジェント校舎とする。
- ・家庭的な雰囲気のある教室をつくる。

### 方針 2：地域のシンボルとなる景をつくる

- ・既存樹木等の緑を残すとともに、緑豊かな景観をつくる。
- ・学校と地域の伝統・歴史を取り入れたシンボル性を表現する。
- ・地域色を取り入れる。
- ・地域利用に開かれた学校とする。

### 方針 3：安全・安心の装置をつくる

- ・防犯安全性を保つ見通しの良い校庭とする。
- ・セキュリティの高いシステムを構築する。
- ・車いす利用等に対応できるバリアフリー構造とする。
- ・優れた救援センター機能をもつ地域の防災拠点とする。

### 方針 4：自然を活かし自然に親しむ環境をつくる

- ・自然光や風をうまく利用できる構造をつくる。
- ・省エネルギー、省資源に有効な構造や材料及び設備に配慮する。

### 方針 5：十分な運動と催しに対応できる広さの校庭をつくる

- ・学校利用とともに、地域利用の利便性と交流を育む多面的な利用ができるように工夫する。
- ・地域の広場がないため、お祭りや商店街のイベントなどにも利用したい。そのため、地域にも使いやすい、できるだけ広い校庭となるように工夫する。

### (3) こんなふうに造りたい（整備方針）

#### ①現状を残し、活用したいもの 【基本方針 2 に該当】

- ・桜の木及び周囲の樹木
- ・正門のオブジェ
- ・二宮金次郎の像
- ・慈母ふくろうの像

#### ②周辺への配慮 【方針 2】

- ・学校改築に伴い環境が変わる、特に日影の影響等について周辺の居住環境に配慮する。
- ・道路境界部分においては、ベンチの設置や空地など住民へのサービス空間の配置に配慮する。
- ・池三池の再生を検討する。

#### ③飛び地の活用 【方針 1、方針 5】

- ・飛び地に配置する施設として、プール、地域利用の多目的スペース、子どもスキップなどの組み合わせが考えられる。
- ・本体敷地と飛び地はデッキで結ぶなど一体的な活用を図りたい。

#### ④校庭の広さを確保 【方針 5】

- ・地下利用による建築面積の縮小を図る。
- ・観覧席など校庭機能を補完するために、校庭に面する校舎 1 階部分を片持ち又はピロティ（建物の 1 階を柱だけ残し、吹き放しとする建築様式）形式とした半屋外空間の創出を図る。
- ・屋上階を校庭とする構成も考えられる。
- ・校舎配置計画の検討を慎重にする。
- ・今の校舎配置と同じ配置計画にする。

#### ⑤デザインイメージ 【方針 2】

- ・立教大学のレンガを地域カラーとしてとらえ、レンガの使用を工夫する。
- ・四角いビル型の建物ではなく、瓦屋根・庇や山小屋風など温かみと親しみのあるデザインに配慮する。
- ・校舎内は、木目調など温かみのある仕上げとする。
- ・メンテナンスしやすい施設とする。
- ・緑が多い、森のような学校となる工夫をする。

#### ⑥省エネルギーへの対応 【方針 4】

- ・遮光カーテンや庇などにより、西日対策を取る。
- ・自然光が入る明るい校舎とする。
- ・風通しを良くする。
- ・普通教室にはバルコニーを設置する。

- ・屋上緑化、壁面緑化を積極的に導入する。
- ・太陽光発電など新エネルギーの導入を図る。

#### ⑦地域の防災拠点としての構成 【方針 3】

- ・救援センター機能を確実に取り入れる。
- ・体育館は 1 階にあった方が利便性が高い。
- ・災害対策用マンホールトイレを設置する。
- ・災害対策用井戸の設置を検討する。
- ・補助 172 号から大型車が入れる道路の接道を検討する。
- ・東日本大震災の日の避難の経験を活かした施設にする。
- ・震災時の避難者に情報提供ができる施設とする。
- ・道路側から入れる町会用防災倉庫を設置する。

#### ⑧校舎の構成 【方針 1】

- ・バリアフリー化されたつくりとする。
- ・図書室とコンピュータ室を複合化する。
- ・屋上利用を工夫する。
- ・校庭で野球ができるよう校舎側にもネットを設置する。
- ・駐輪場を設置する。
- ・敷地の外周にランニングできるコースを設ける。
- ・ビオトープを設置する。
- ・職員室で教室の中が見えるセキュリティシステムにする。
- ・エレベーターを設置する。

#### ⑨諸室 【方針 1】

- ・普通教室：教室と廊下は開閉できる透明な仕切りとする。
- ・図書室：読書に親しみを持てるような楽しいつくりにする。
- ・トイレ：明るく、気持ちよいトイレとする。ウォシュレット付きとする。
- ・ランチルーム：多目的に使うことに配慮し、できるだけ広くしたい。
- ・体育館：常設ステージを設置する。
- ・プール：地域開放できる通年利用型を検討する。
- ・PTA室：冷暖房設備及びパソコンを設置する。
- ・特別教室：その教科にふさわしい特色あるつくりにする。
- ・屋上活用など学級園を整備し、食育の指導に活用する。
- ・礼儀を学び日本の文化を感じられる和室を整備する。

#### ⑩設備 【方針 1、方針 3、方針 4】

- ・体育館を含め、冷暖房設備を検討する。
- ・防犯カメラを設置する。
- ・校庭を土とした場合は、埃防止と温度上昇を防ぐために噴霧器を設置する。
- ・最新の ICT 機器を導入する。

⑪地域利用 【方針 2、方針 5】

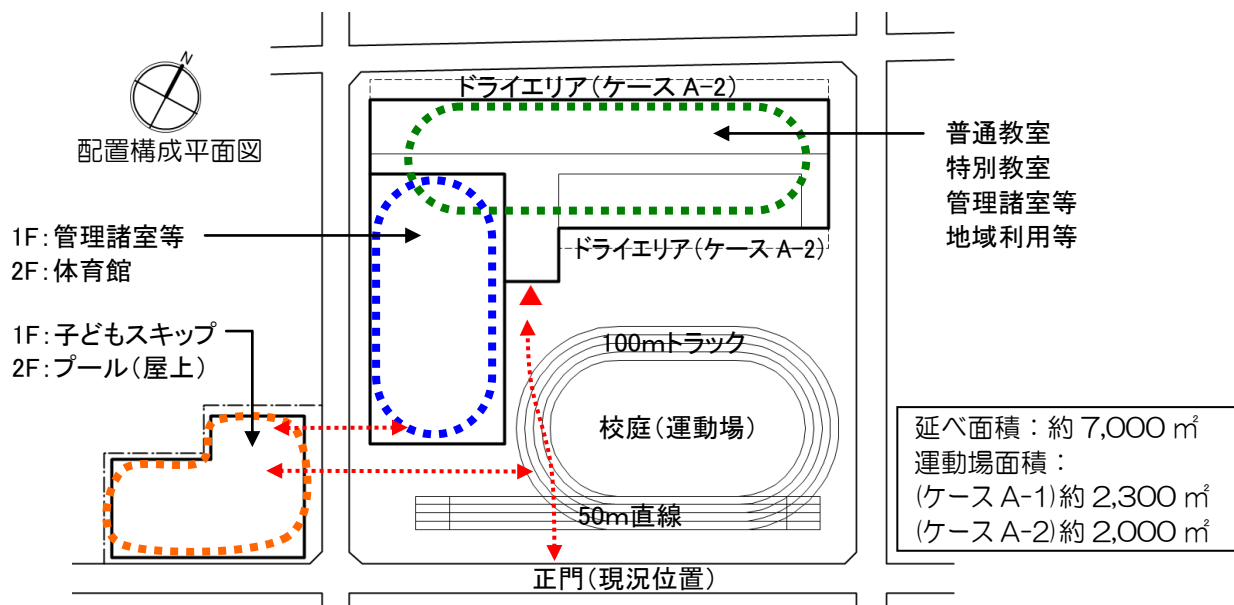
- 多様な地域活動が可能な校庭開放とする。
- 地域開放の施設として、体育館、図書室、ランチルーム、PTA室のほか、多目的な地域スペースの設置を検討する。
- 地域利用の更衣室、運動用器具庫のほか、町会で使う道具入れを設置する。
- 地域利用にも対応できる、校舎内にベンチ等の休憩できる場所を設置する。
- 建替え時の町会資材保管庫を確保する。
- 地域のイベント等にも使える部屋、スペースを設ける。

#### (4) 空間構成と配置計画について

施設配置等に関して、校庭の取り方を中心に 4 パターンについて模型を使って検討しました。特に重視したい点は以下の事項です。

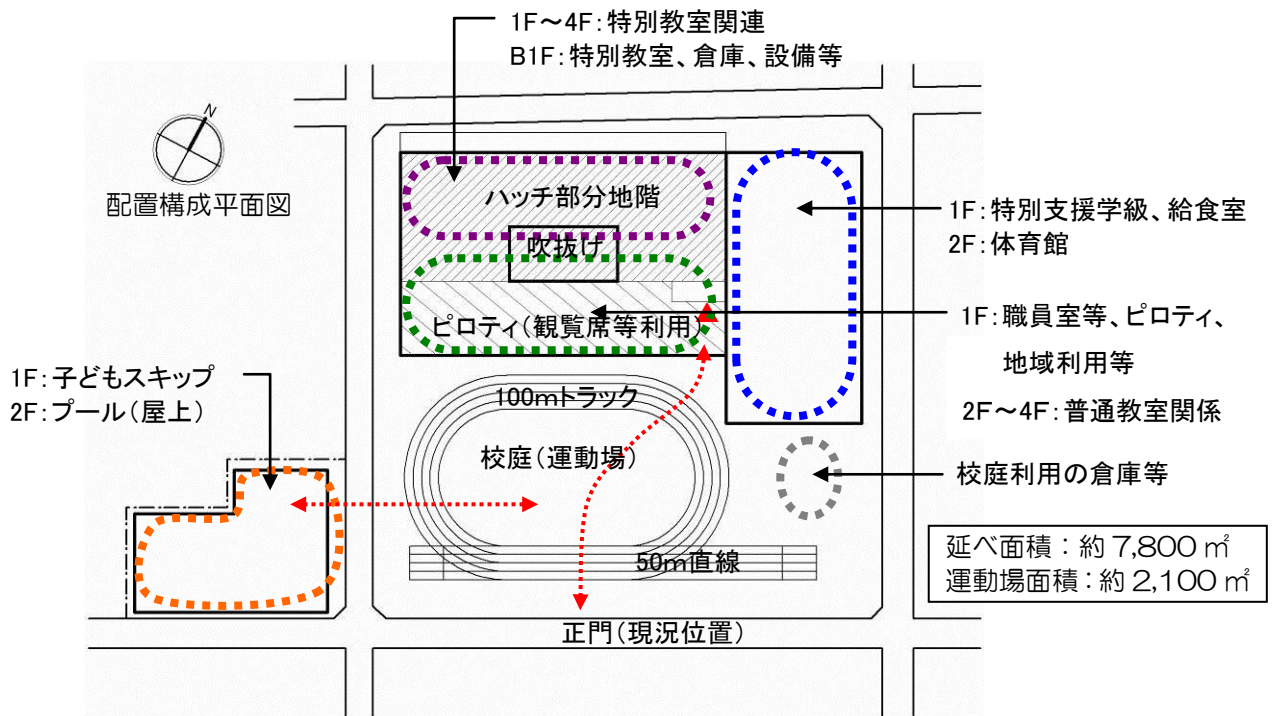
- ・校庭（運動場）をできるだけ広く確保する施設計画、配置計画に配慮すること。
- ・日影や圧迫感など近隣住環境に与える影響に配慮すること。
- ・既存樹木をできるだけ残すこと。
- ・飛び地を有効に活用するとともに、校舎との使いやすい動線に配慮すること。
- ・敷地が正方形に近い場合、同一形態プランでも 4 通りの配置が可能となる。教室の室内環境と周辺への影響に配慮し、配置を検討すること。
- ・校地が狭い学校で、施設標準（諸室、規模、箇所数）の全てを確保すべきか再度検討すること。

ケース A-1（地上 4 階建て）      ケース A-2（地下 1 階、地上 3 階建て）

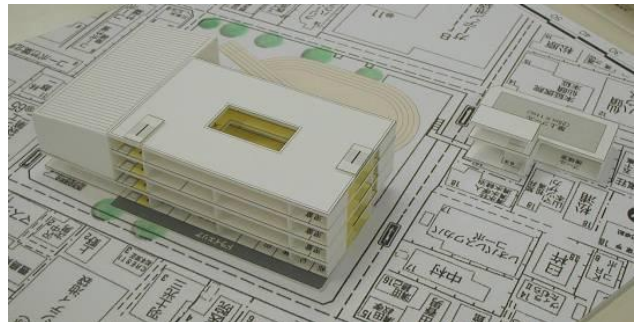
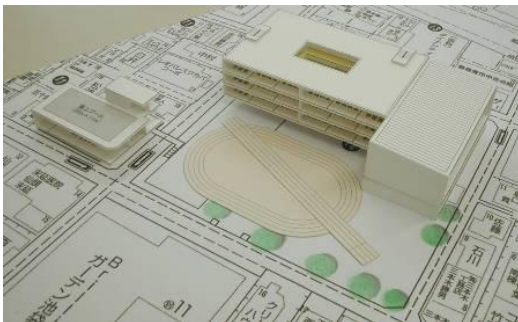


空間構成・配置の特徴	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎配置は現況に近い L 型としている。</li> <li>・地上 4 階建てとした「ケース A-1」と地下 1 階を設け、地上部を 3 階建てとした「ケース A-2」を想定した。</li> <li>・建築面積を小さくするために、体育館は 2 階レベルとして 1 階には諸室を配置している。</li> <li>・運動場面積は現状よりやや広がっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎の L 型配置は、運動場のトラック配置に余裕がもちにくい。</li> <li>・ケース A-2（地下 1 階、地上 3 階建て）では、地下部の湿気対策等、屋内環境の配慮が大切であるとともに、工事費が割高になる。また、ドライエリアが必要となるため運動場面積が減少する。</li> </ul>

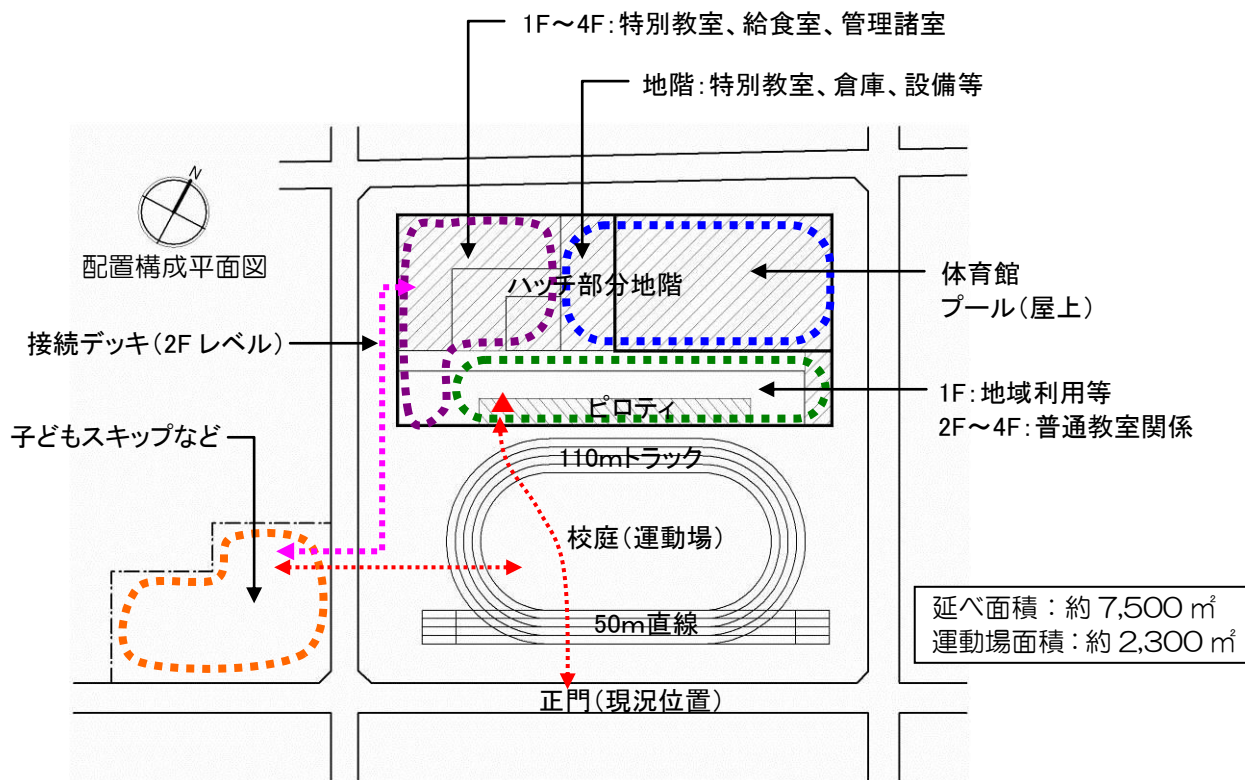
ケースB (地下1階、地上4階建て)



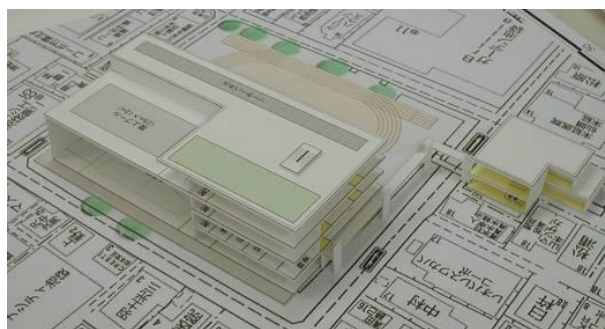
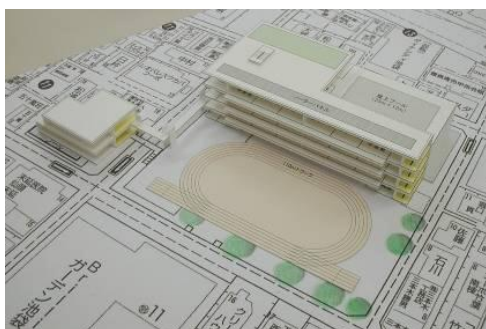
空間構成・配置の特徴	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年単位に十分な広さの多目的スペースを確保した校舎内レイアウトを想定した。そのため、ケースAに比べ延べ面積が大きくなっている。</li> <li>中庭配置により、採光と通風に配慮した構成としている。</li> <li>校庭側をピロティとして観覧席など校庭機能の分担を可能としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動場面積は現況と同程度のままである。</li> <li>プールを飛び地に配置しているため、校舎を北側に配置した場合、行き来到校庭を通る。</li> <li>体育館は2階となっている。</li> </ul>



ケースC (地下1階、地上4階建て)

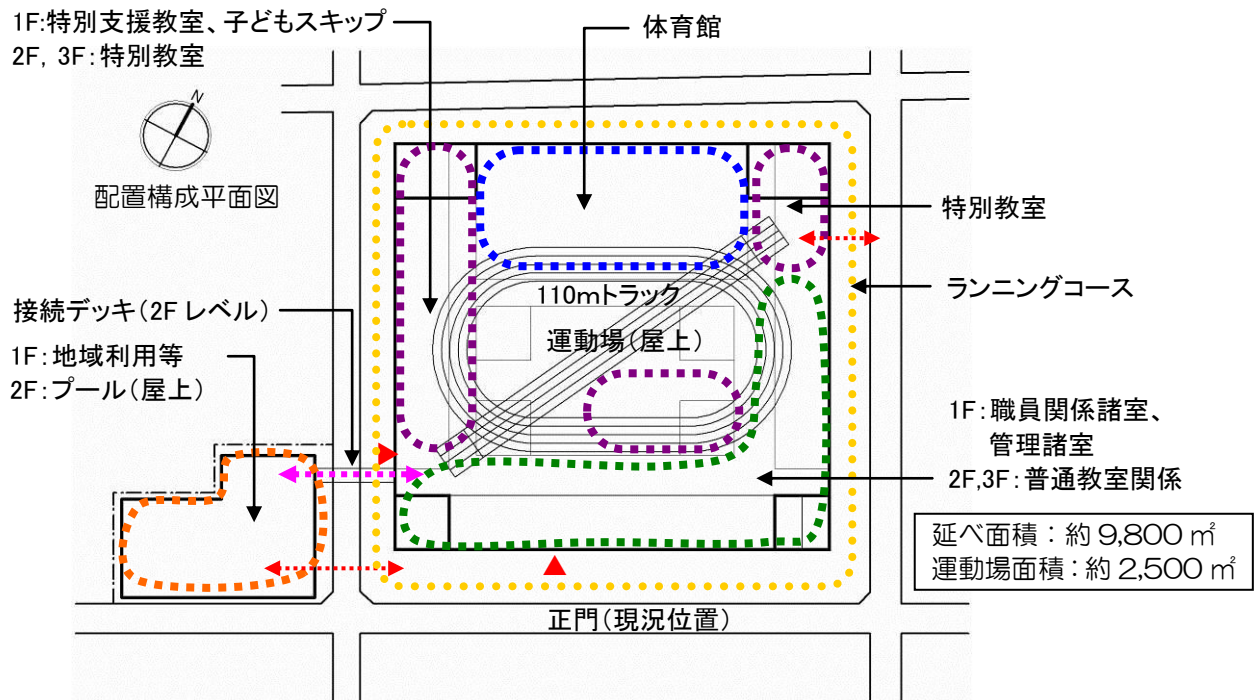


空間構成・配置の特徴	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 体育館を校舎内に組み込み、校庭側への出っ張りをなくし、校庭の形状を使いやすくしている。そのため、トラックの直線部を長くするライン引きが可能となる。</li> <li>• 体育館を1階に配置、体育館屋上をプールとし、地下1階、地上4階建てとしている。</li> <li>• 校庭側の一部をピロティとして校庭利用の観覧席機能を分担する。</li> <li>• 飛び地の施設との連携のため2階レベルでデッキを設置することが考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 体育館を校舎に組み込んだことで、校舎部分の1階あたり床面積が限られるため、職員関係諸室が同一階に入らない、特別教室の一部が地階に配置される、などの機能的な支障を克服する検討を要する。</li> <li>• 地下部分があり整備費が割高になる。</li> </ul>

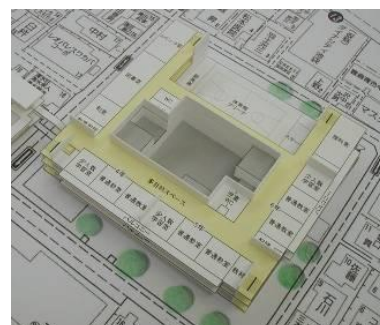
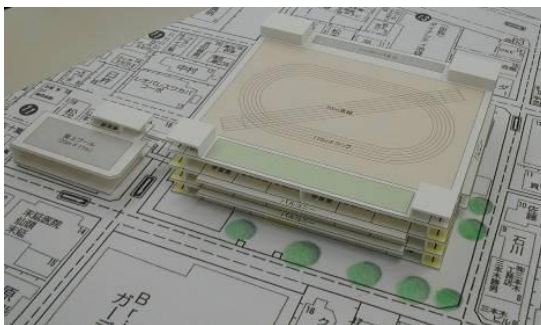




ケースD (地上3階建て)



空間構成・配置の特徴	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 諸室を口の字型に配置し、全体を屋根で覆い、その屋上を運動場とするケースである。</li> <li>• 建物回りに周回できるランニングコースが設置できる。</li> <li>• 屋上施設を除き、3階までに必要諸室を配置している。屋上運動場は4階レベルとなる。</li> <li>• 飛び地の施設との連携の2階レベルでデッキ接続が容易となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 建物中央部分に不必要な空間が生じ、延べ面積が大きくなるため工事費が増大する。</li> <li>• 建築面積が大きいため、長い動線となる部分が生じる。</li> <li>• 運動場は4階レベルにあるため、地域利用や防災利用(救援センター)に支障がある。また、震災時の一時集合場所の確保ができない。</li> <li>• 教室が外側配置なので、内側の採光と通風に工夫が必要となる。</li> <li>• 防球ネットを設置できないので、ボールを使った運動ができない。</li> </ul>



#### 4 「池袋第三小の建替え等を考える会」の検討過程

##### (1) 活動概要

回	開催日	検討内容	備考
第1回	12月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 会の設立及び進め方について</li> <li>• 建替えに係る課題等について</li> </ul>	
第2回	1月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 改築計画、第二次整備計画、教育ビジョンに関する学習</li> </ul>	
見学会	3月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新宿区立四谷小学校見学</li> </ul>	
見学会	3月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 板橋区立大谷口小学校見学</li> </ul>	(東日本大震災)
第3回	4月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 見学会の報告</li> <li>• アンケート調査の内容について</li> </ul>	
第4回	5月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 区の防災対策について学習</li> <li>• 子どもスキップについて学習</li> </ul>	ニュース①発行
第5回	6月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校建築について学習 (東洋大学長澤悟教授の講義)</li> </ul>	アンケート調査の実施
第6回	7月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アンケート調査結果の報告</li> <li>• 施設計画の検討(1)</li> </ul>	
第7回	9月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 施設計画の検討(2) (グループワークショップ)</li> </ul>	
第8回	10月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 施設計画の検討(3) (グループワークショップ)</li> </ul>	ニュース②発行
第9回	11月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 施設計画の検討(4) (全体ワークショップ)</li> </ul>	
第10回	12月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 施設計画の検討(5)</li> <li>• 提言書たたき台の検討</li> </ul>	町会説明会(12月16日)
第11回	1月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 提言書(案)について</li> </ul>	
説明会	1月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域説明会(意見・質疑)</li> </ul>	提言書へ反映
第12回	2月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 提言書の策定</li> </ul>	ニュース③発行
			5月：ニュース④発行予定

## (2) 見学会の記録

### ①新宿区立四谷小学校 (平成 23 年 3 月 5 日)

新宿区内の3校が統合されてできた小学校を見学しました。同校は非オープン型の教室を採用していますが、2 学年ごとに1つのフリールームを設置していました。校庭は全面人工芝となっていました。



校舎の外観



人工芝の校庭



児童エントランスの中庭



非オープン型の普通教室



普通教室の前の廊下



図書室と連続するコンピュータ室



メモリアルコーナー



開放的なランチルーム



屋上にプールがある体育館



冬季は蓋がけ利用する屋上プール



トイレ前の廊下



配膳室と兼用エレベータ

## ②板橋区立大谷口小学校（平成23年3月11日）

板橋区内の小学校で、老朽化が進んだことから建替えられました。多様な教育方法に対応できるように教室と廊下の仕切りのないオープンスペース型を取り入れていることが特徴でした。また、地域の防災拠点の役割も担っていました。



児童エントランスと校舎外観



校庭には 100t 雨水貯留槽を設置



教室間にウッドデッキの中庭



オープンスペース型普通教室



オープンスペースとの仕切り



学年単位のオープンスペース



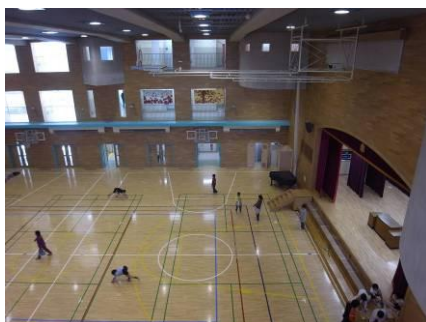
100人規模のランチルーム



災害時には救護室となる保健室



定員60名の学童クラブ室



校舎中央部に配置された体育館



貯水槽を兼ねる屋上プール





















非常用大型発電機

■各小学校の比較 1/2

	池袋第三小学校	新宿区立四谷小学校	板橋区立大谷口小学校
校庭			
出入口			
昇降口			
廊下			
階段			
普通教室			

■各小学校の比較 2/2

	池袋第三小学校	新宿区立四谷小学校	板橋区立大谷口小学校
体育館			
プール			
ランチルーム			
トイレ			
洗面所			
校長室			

### (3) アンケート調査の概要

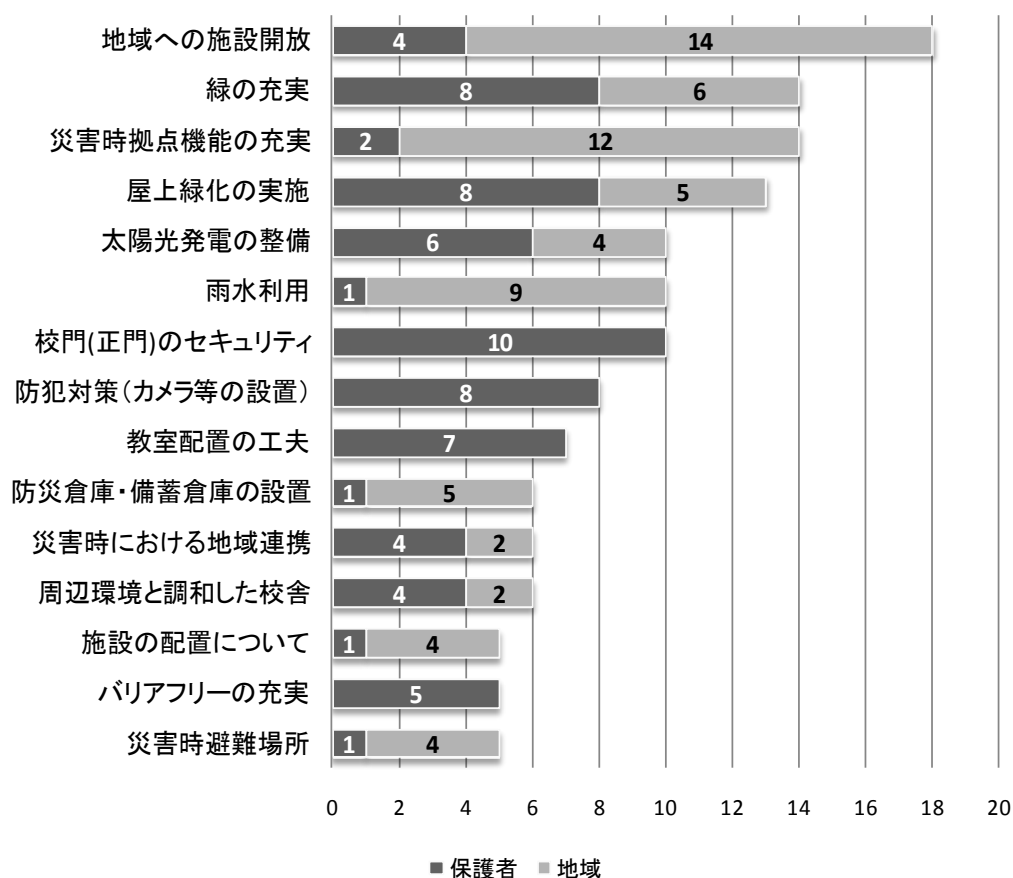
建替えの基本構想(案)の作成にあたり、池袋第三小学校児童、保護者、教職員及び通学区域内の区民の皆様を対象にアンケート調査を実施しました。

配布対象	配布数	回答数	回答率
池袋第三小学校の児童	277	153	55%
池袋第三小学校の保護者	226	42	19%
池袋第三小学校の教職員	23	23	100%
小 計	526	218	41%
池袋第三小学校通学区域内の区民等	175	35	20%
全体計	701	253	36%

#### ■調査結果の一部紹介

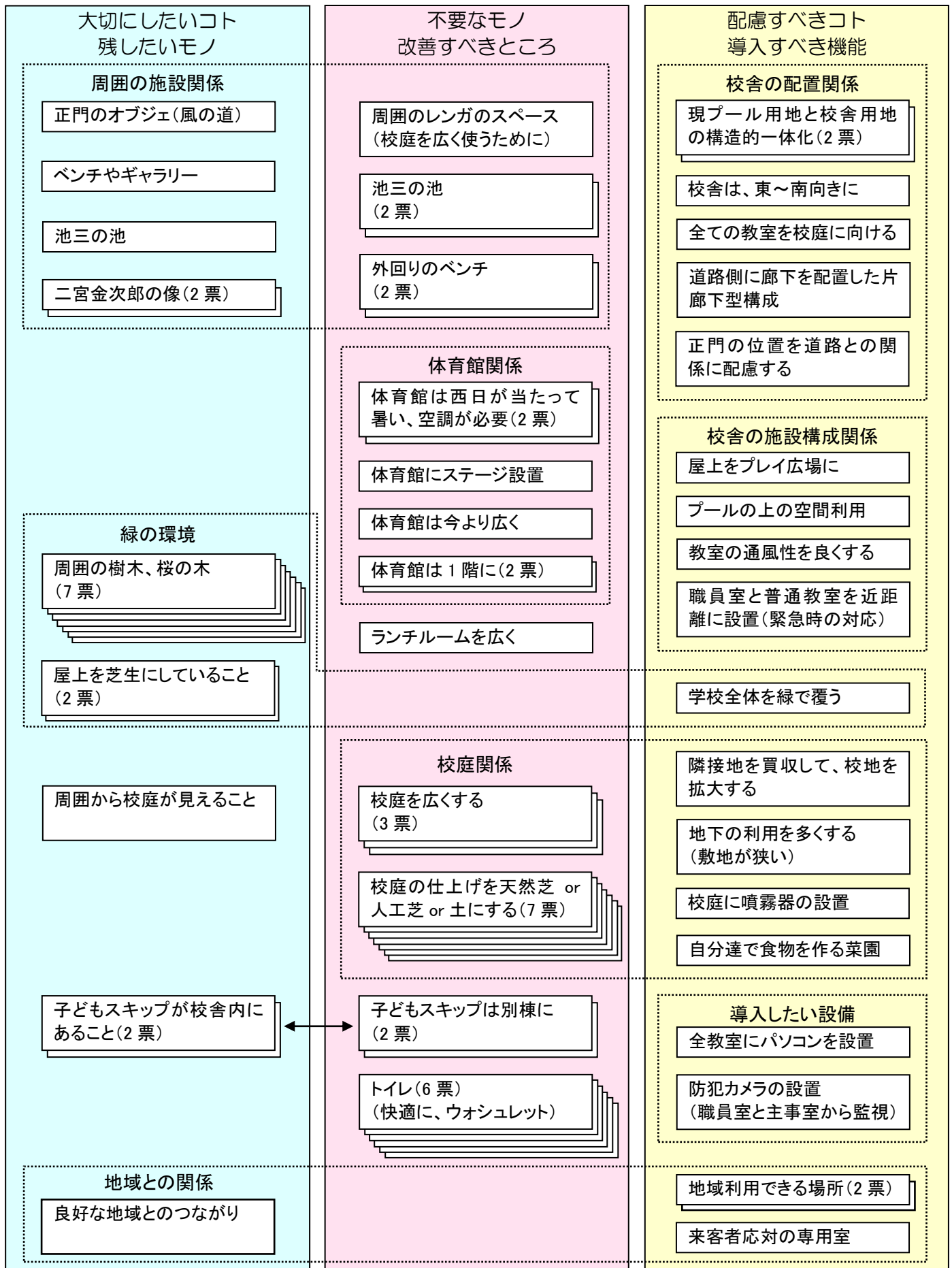
建替えに際して充実すべきこと（複数回答可）

対象：保護者（回答数 42）、地域の方（回答数 35）



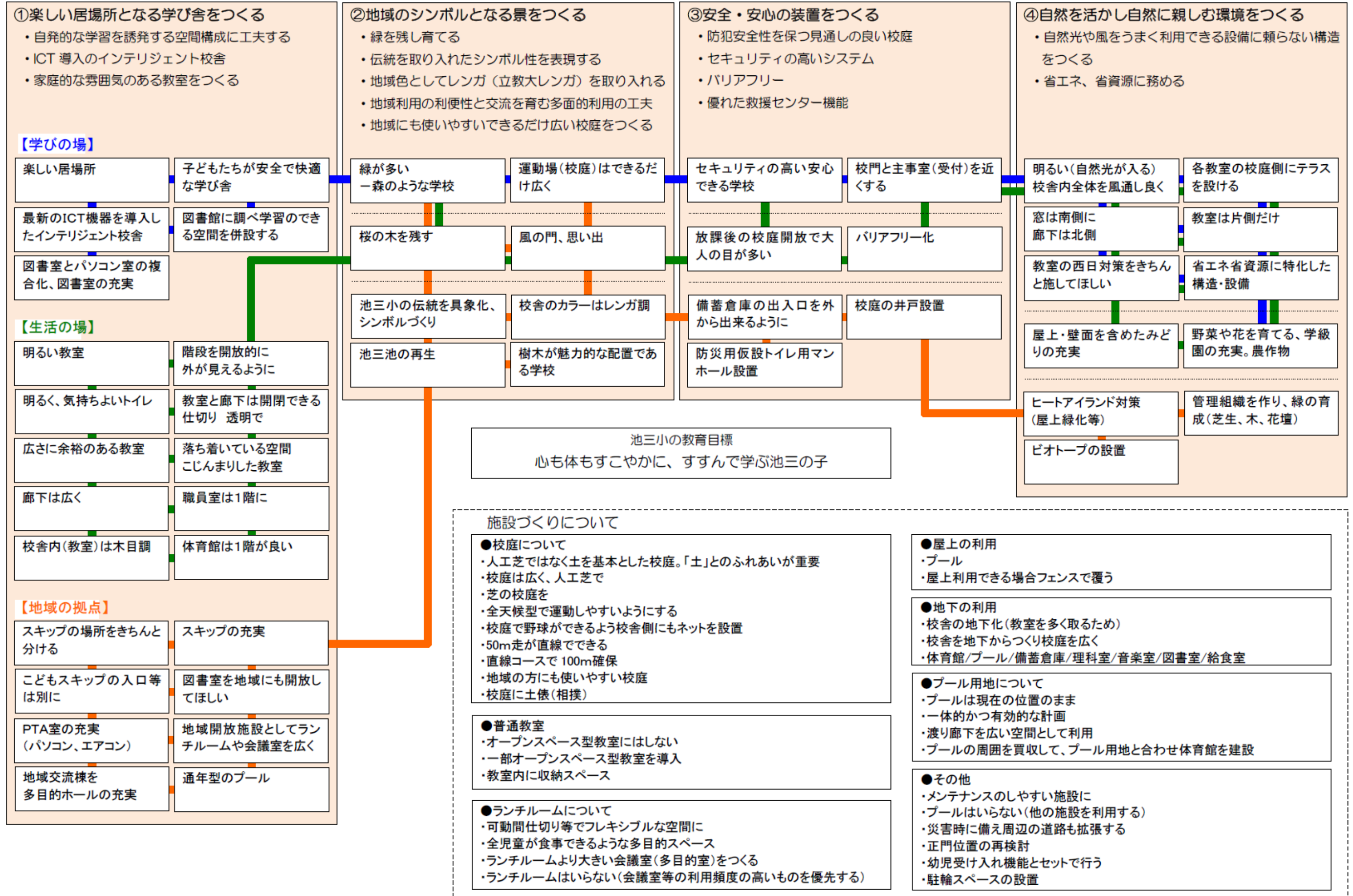
(4) 施設計画の検討ワークショップの概要

7/21WSのテーマ：アンケート調査結果等を踏まえ、学校建替えに向けて、現況のよいところ、改善すべきところなどで特に重視したいこと



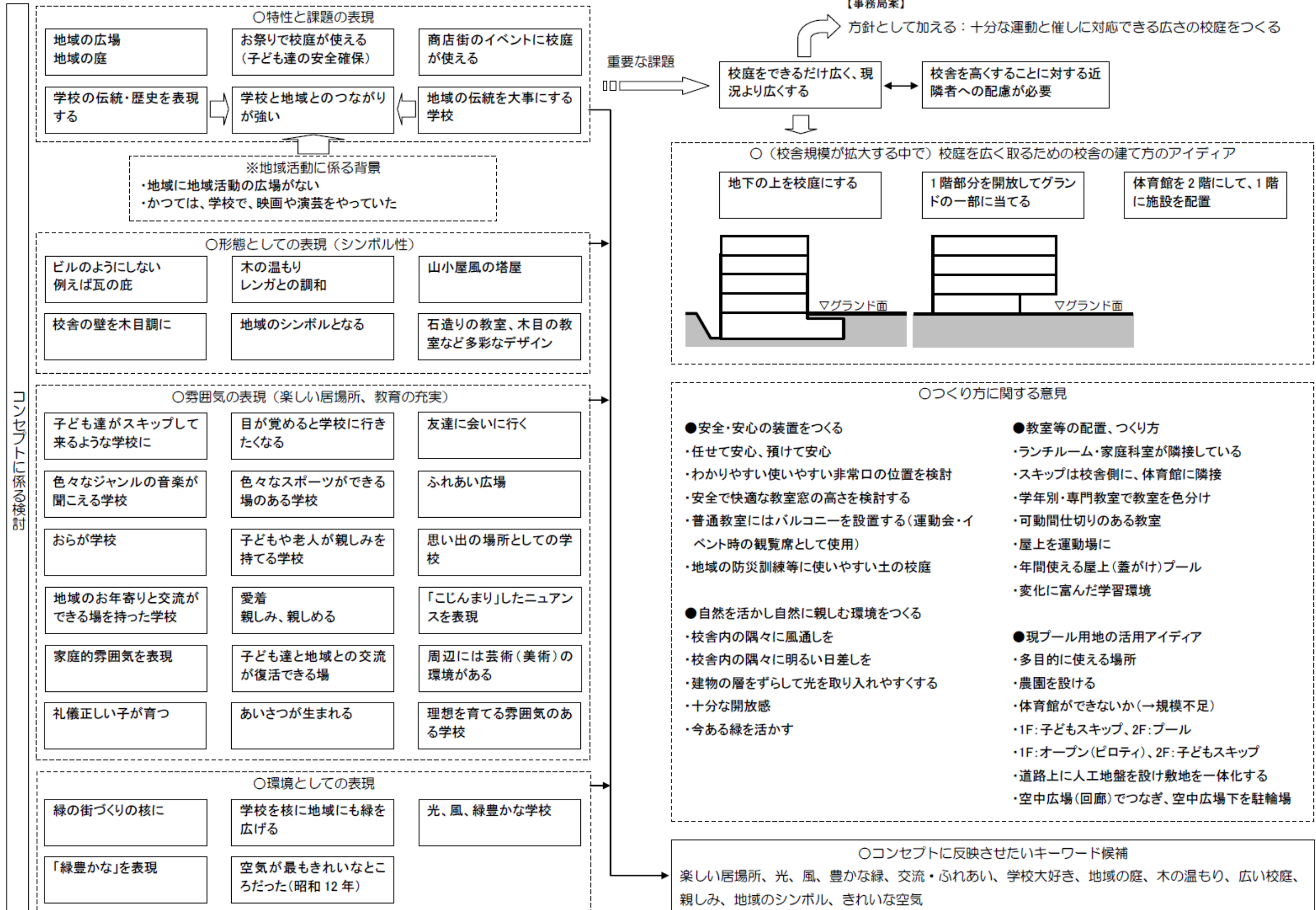


建替えの基本方針（こんな学校にしたい）の検討 ～9/14WSの意見を整理～



<空ページ>

建替えのコンセプトづくりと整備方針（こんなふうに造りたい）の検討 ～10/19WSの意見を整理～



<空ページ>

## コンセプト、基本方針、整備方針の検討 ～11/9WS の意見を整理～

### ■コンセプト検討における主な意見

- コンセプト案は 4 案ともよいと思う。コンセプトや基本方針の中で「楽しい居場所」はよい言葉だと思うが、池三小の児童がこれから学ぶこと、生きることの希望や理想、心の豊かさを育ていける場といった言葉も入れるべきではないか。
- テレビで地域と一体の学校といった特集が放送されていたが、そのなかで「子どもは地域の宝」がキーワードになっていた。そうした言葉を加えてもよい。
- 近くにライトの設計した明日館がある。自然と融合するような建物ということで設計されていて、とても魅力的に感じる。中に入りたいと思えるような建物であってほしいと思う。

## 建物ボリュームと配置の検討 ～11/9WS の意見を整理～

### ■地上5階（体育館1階）ケース



- 建物が高いので周辺からクレームが出るのではないか。
- 現在の校庭より少しでも広い方がよい。
- トラック直線部分を今より長くしてほしい。
- 体育館は1階が望ましい、災害時の避難所運営、選挙会場等に都合がよい。

### ■地上4階地下1階（体育館2階）ケース



- 体育館の下部もピロティにして校庭利用を広くしたい。
- ピロティ部分の柱の位置を工夫して使いやすくしたい。
- ピロティ部分の柱を避けるようにトラックを通せないか。

### ■その他全体について

- 校庭を広げることと体育館を1階に置くことのどちらも解決できないか。
- 子どもスキップは体育館の近くにあった方が、雨天時に近くて使いやすいのではないか。
- 敷地を周回できるランニングコース（樹木があってもよい）を取ってはどうか。
- 給食室や特別支援学級を地下にできないか。
- 建物の高さは高くなってもよいが、近隣への配慮が必要になる。
- 体育館の向きを変えて校舎に組み込ませる形にして校庭を広くしてはどうか。
- 近くに広い道路がありながら、学校へは細い道路しか通じていない。長い目で見れば、取り付け道路は広くする必要ではないか。
- 統合し廃校する学校の敷地は残すべきで、今後の改築や道路拡幅の交換用地として活用すべきである。

## 建物ボリュームと配置の検討2 ～12/7WSの意見を整理～

前回 11/9WS の意見を踏まえ、校庭を広く取り、かつ体育館を 1 階に配置すること、建物高さをできるだけ低くすることを条件にした 2 つのケースについての意見交換

### ■ケースC（地下1階、地上4階）



- 階数は現状(3階)のままなら良いと思うが、これが4、5階になると地域の方からクレームが出るのではないか。
- 周囲に影響が出にくい中央部分(校庭中心側)だけ階数を増やしてはどうか。
- この配置のまま西向きまたは南寄せにしてはどうか。

### ■ケースD（屋上校庭）



- 屋上校庭は約 20 年ごとの防水改修が必要になる。メンテナンス費用に難があるのではないか。
- 屋上緑化や太陽光発電の設置など、設置しなければならないものもあるので調整が必要。
- 屋上校庭だと災害時の避難場所として使いにくいのではないか。
- 校庭自体は広くて良いが、地域の人たちが使いにくくなるのではないか。
- コンセプトにある「豊かな緑」になりにくいのではないか。

### ■その他の意見

- 考える会としては、AからDのケースのどれかに絞り込むことはしない。それぞれにメリット、デメリットがある。
- 他校では校庭の芝生の養生や張替え等で使えなくなる期間が生じることがある。そういったことは避けるべきである。
- 階数については地域の意見を聞いてから提言としてまとめる方法もあるのではないか。
- 町会で使う道具入れがあるとよい。

## 建物ボリュームと配置の検討3 ～1月19日での検討～

- 当初案がかなり大きな延床面積となったため、多目的スペース設置を必要条件としない、延べ面積 7,000 m<sup>2</sup>程度の規模とする方向修正の提案があった。考える会の了承を得て、地上4階建てケース、及び地下1階、地上3階建てケースを検討した。

#### (4)「池袋第三小の建替え等を考える会」会則

##### 池袋第三小の建替え等を考える会 会則

###### (名 称)

第1条 この会は、池袋第三小の建替え等を考える会（以下、「本会」という。）と称する。

###### (目 的)

第2条 本会は、豊島区立池袋第三小学校（以下、「学校」という。）の児童の学習の場及び生活の場としての安全・安心で快適な学校環境を確保するため、教育内容・方法の多様化及び情報化や環境保護等の社会情勢の変化に対応した、また、生涯学習や地域活動等のまちづくりの拠点としての地域に開かれた学校施設づくりを推進することを目的とする。

###### (協議事項等)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる活動を行う。

- (1) 学校施設づくりに必要な調査・研究を行うこと。
- (2) 学校の改築等の基本構想をまとめ、豊島区教育委員会並びに豊島区長に提言すること。
- (3) 学校の改築等の基本構想の実現に向けた活動を推進すること。
- (4) その他、学校施設づくりに関すること。

###### (構 成)

第4条 本会は、次に掲げる団体等から推薦、または、選出された者で構成する。

- (1) 学校のPTA、同窓会
- (2) 学校通学区域内の町会及び仮校舎所在の町会
- (3) 学校通学区域内で活動する地域団体等
- (4) 豊島区、教育委員会及び学校

###### (役員等)

第5条 本会の役員構成及び職務は次のとおりとする。

- (1) 会長、副会長、その他の役員は、委員の中から互選によって定める。
- (2) 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
- (3) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、これを代行する。

###### (任 期)

第6条 委員及び役員の任期は、本会の設立の日から学校の改築等が終了するまでとする。

###### (会議運営等)

第7条 本会は会長が召集し、会議を主宰する。

- 2 本会は、必要に応じて部会等を置くことができる。
- 3 学校通学区域内に居住する者及び学校に通学する児童の保護者は、会議を傍聴することができるものとする。但し、必要がある場合は、委員のみで会議を開催できるものとする。

- 4 会長は、必要に応じて委員以外の者を会議に出席させることができる。
- 5 委員は、地域の意見が充分反映されるよう協議するものとする。

(事務局)

第8条 本会の事務局は、豊島区教育委員会事務局教育総務部学校施設課に置く。

(会則の改正)

第9条 この会則に変更の必要が生じたときは、会において協議のうえ改正するものとする。

- 2 この会則に定めのない事項については、会において協議のうえ定めるものとする。

付 則

- 1 この会則は、平成22年12月15日から施行する。



(5)「池袋第三小の建替え等を考える会」名簿

氏名	所属団体等	備考
須田 明	池袋第三小学校元PTA会長	会長
小野 隆之	西池袋南町会会長	副会長
餅田 卓畝	池三小みどりの会会長	副会長
橋田 啓	池袋第三小学校PTA会長	H23.3月まで
齊藤 秀樹	池袋第三小学校PTA会長	H23.4月から
寫田 至代	池袋第三小学校PTA副会長	H23.3月まで
名取 勝敏	池袋第三小学校PTA副会長	H23.4月から
蒲地 大佑	池袋第三小学校元PTA会長	
齋藤 薫	池袋第三小学校元PTA会長	
高橋 百合恵	池袋第三小学校元PTA会長	
田中 稔	池袋第三小学校同窓会会長	
平林 幸隆	池袋第三小学校同窓会	
岸野 俊六	西池袋南町会副会長	
石橋 光恵	西池袋南町会女性部長	
池田 好雄	西池袋四丁目町会会長	
青木 敏也	上り屋敷町会会長	
森田 晴久	目白協和会会長	
江澤 秀夫	勇士会	
伊藤 正美子	放課後子ども教室地域コーディネーター	
遠山 定雄	地域安全ボランティア	
武藤 眞	施設開放委員会委員長	
柳澤 幸彦	勇士会(西池袋四丁目町会副会長)	
坂田 悦郎	池袋第三小学校副校長	H23.3月まで
野村 隆久	池袋第三小学校副校長	H23.4月から
田中 宏明	池袋第三小学校教諭	
野島 修	豊島区施設管理部施設課長	
齊藤 忠晴	豊島区教育委員会事務局教育総務部長	

事務局:豊島区教育総務部学校施設課